

かみねっちょ新聞

平成31年 3月号

～あなたの知らない飼育員の世界～

みなさん、飼育員も出張に行くって知ってますか？

飼育員と聞くと、動物に給餌をしたり獣舎の掃除をしたりといった動物の飼育管理をしていて動物園にずっといるイメージがあるかと思います。

たしかに、動物の飼育管理は飼育員の大切な仕事の1つです。

しかーし！ずっっと同じことをしてはダメな場合もあります。

そうした時、飼育員はさらに良い飼育管理の方法を探すため、勉強会などに参加するため出張することもあります。

東にひづめの講習があると聞けば勉強しにいき、西に動物の栄養について詳しい人ありと聞けば話を聞きにいき、といったぐあいに全国さまざまな場所に足をはこびます。

実は、私も去年「動物園技術者研究会」という全国の動物園職員があつまる会議に参加してきました。この会議、簡単に言うと、動物の飼育の仕方や治療の仕方・良くできたイベントの内容など動物園や動物に関するもろもろの情報交換をするものなんです。

このように、いろんな動物園や専門家の人の話を聞いて飼育員は動物が快適に暮らせるように、そして皆さんに健康な動物を見てもらうために、色々と勉強しているのです。

とはいっても、飼育員が勉強してきたかなんて言ってくれなきゃ分かんないヨと思いますよね。

たしかにそうなんです、もしかして勉強してきたのかなと気づけるポイントもあります。

たとえば、動物の展示場に今までになかったエンリッチメントが追加されていたり、いつも食べていたごはんの内容が変わっていたり、はたまた今まで無かった掲示物が出来ていたりといったように目新しいものを見つけたら、おっ！この動物の飼育員はどこかで勉強してきたのかなと思っても良いと思います。完全に私見ですが少なくとも私はそうです笑

次に動物園に来るときはそういった視点で動物園をまわるのも面白いかもしれません！



園長のひとこと

新しくオープンしたはちゅうるい館で、最近何か変わったな、と気づいた方はいるだろうか。実は1階ヨーロッパアシナシトカゲの展示室が模様替え。このアシナシトカゲは、トカゲなのに肢がない。見た目ヘビなのでヘビガタトカゲとも言い、ちゃんとまぶたもあるシトカゲの尻尾切りもできる。気持ち悪いという人もいるが、トカゲからヘビへの進化を説明するうえで面白い生き物なのである。そのアシナシちゃんが、突然いなくなった。砂の中に潜り込んでそのうち出てくるだろう、とタカを括っていたが待てど暮らせど出てこない。アシナシどこじゃないスガタナシだ、などとしゃれてる場合じゃない。もしや脱走？不安が頭をかすめる。確かに展示室の扉の下にはほんの少しの隙間があるが。

で、ある日飼育員が砂をかき出し擬岩のちょっとした隙間を覗き込むと、尻尾だけ確認。でも、擬岩と壁の間に入り込み出られない。生きてるのか？仕方ないので高価な擬岩を壊すことに。ついに救出！生きてたのね。この間約2週間。一応水やエサは入れてたものの、多分飲まず食わずで挟まれたままだったのかもしれない。奇跡の生還劇に安堵しながらも爬虫類のしたたかさを思い知ったのでした。というわけで、擬岩の代わりに板が貼ってありまーす。苦難を乗り越えたアシナシちゃんをねぎらってね。あ、でもまた砂の中に隠れて見えないかも。



4月の予定

☆飼育の日特別ワークショップ

「動物園のごはんですよ!」: 21日(日)

詳細はかみね動物園ホームページ <http://www.city.hitachi.lg.jp/zoo/>
または 0294(22)5586 までお問い合わせください



毎日のイベント(えさやり・ガイド)

注意: 時間変更・中止になる場合もございます。

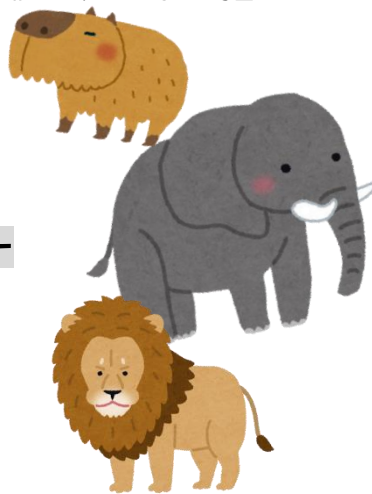
は見学のみ

(平日)

(土日祝)

- 11:00 ペンギン
- 11:30 キリン
- 13:00 マンドリル
- 13:15 カピバラ
- 13:30 チンパンジー
- ウミウ
- 14:00 ソウ
- 14:30 エゾヒグマ
- 15:30 ペンギン
- 16:00 ライオン

- 10:00 ソウ
- 11:00 ペンギン
- 11:30 キリン
- 13:00 マンドリル
- 13:15 カピバラ
- 13:30 チンパンジー
- ウミウ
- 14:00 ソウ
- 14:30 エゾヒグマ
- 15:00 ポニー・シマウマ
- 15:30 ペンギン
- 16:00 ライオン



※水曜日のソウ・エゾヒグマのおやつタイムはお休みします。
※ヘビとのふれあいは土日祝の11時~12時です。